

贈りたい 大賞

—大切な人に贈りたい1冊—

大賞受賞作

平成27年度 やまなし読書活動促進事業

本を贈る心

山梨県立図書館 館長 阿刀田 高

読書離れが叫ばれているけれど、そうであればこそ、あえて本を贈ろう。

「なにを贈ればいいのか」と悩むだろうが、とにかく相手のことを考えて適切と信ずる本を選ぼう。

贈られる側は、贈った人が“私のことを考えてくれたんだ”と相手の配慮に思いを馳せよう。

本そのものの価値もさることながら、ここには“思い、思われる”という大切な人間関係が伏在している。

とにかく贈ってみよう。贈られた人は、その心に感謝しよう。



山梨県立図書館

〒400-0024 山梨県甲府市北口2丁目8-1

TEL 055-255-1040 / FAX 055-255-1042

<http://www.lib.pref.yamanashi.jp/> 平成27年11月5日発行



大切な人に本を贈ることは、あなたの“想い”を伝えること。

本は、あなたと贈られた人との心を通い合わせ、絆を深めます。

愛する人へ、大切な家族へ、可愛い孫へ、かけがえのない友へ…。

もしあなたが様々な場面で、大切な人に本を贈るとしたら、

どんな本を、どのような理由で選んで贈りますか？

応募総数 2,731点、みなさまからいただいた、たくさんの“想い”。

さまざまな想いを、ありがとうございました。

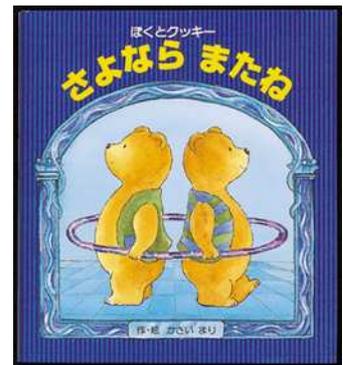
天国にいったおばあちゃんへ

山田 光香俐さん（双葉東小学校）

『ぼくとクッキーさよならまたね』

かさいまり / 作・絵 ひさかたチャイルド

「さよならまたね」は、毎日、会っていたおばあちゃんに言っていた言葉です。ぼくとクッキーみたいにもっとあそびたかったのに、天国にいっちゃったおばあちゃん。いつも、わたしにやさしくしてくれたね。会えなくなって、さみしくなっちゃったけれど、わたしは、ずっと、わすれないよ。おばあちゃん、「さよならまたね」。



夫 へ

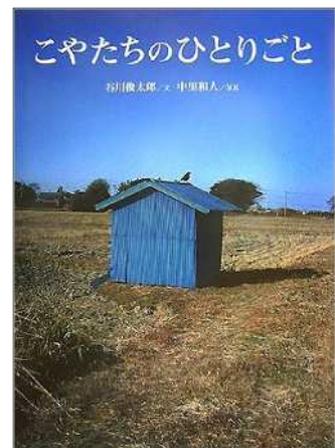
佐野 良美さん（南部町）

『こやたちのひとりごと』

谷川俊太郎 / 文，中里和人 / 写真 ビリケン出版

初めてこの本に出あった時、私もこの小屋たちのように生きられたら何てすてきだろう、と思った。周りのざわつきが気になることもあるが、心に留め置かなくてもよいことはさらっと受け流し、自然体で生きられたらいいなと思う。

人生の最終ステージを歩み始めた私達。健康で仲良く自然体で生きられる様、夫にも読んで欲しい。



子ども（長女・二女）へ

小澤 いづみさん（上野原市）

『ふたりはともだち』

アーノルド・ローベル / 作 文化出版局

マイペースでひょうきん者のがまくんと、穏やかでしっかり者のかえるくんは、対照的だけれど強い絆で結ばれています。あなたたちと同じだね。二匹が寄り添い幸せな時を過ごしている姿は、あなたたちを見ているようで、私も幸せな気持ちになります。我が家のがまくんとかえるくんもずっと「ふたりはともだち」でいてね。



家族へ

内田 成美さん（甲府西高等学校）

『星やどりの声』

朝井リョウ / 著 （株）KADOKAWA（角川文庫）

似ている部分もある。けれど一人一人違う考えも持っている。でもどこかで繋がっている。そんな家族の温かさを感じることができる本です。普段は反抗したり喧嘩をしたりすることもあります。この本を読み終えた後、きっと家族を大切にしようと思えます。そして家族に「いつもありがとう。」と言いたくなるはずです。



祖父母へ

穂山 あかりさん（駿台甲府高等学校）

『永遠の0』 百田尚樹 / 著 講談社（講談社文庫）

今年で戦後70年。悲惨な戦争の裏には、こんなにも壮大で切ない愛の物語があったと知り、気づいたら涙をポロポロ流していました。ジジババも、こんなに大変な時代を生き抜いてきたんだなあ。最近なかなか会いにいけないけれど、私が小さいとき毎日遊んで面倒見てくれた祖父母に、この本と共に感謝の気持ちを伝えたいです。



贈りたい本大賞 優秀賞

高部良江さん（都留市）「（未来）20年後の自分に」：

『速さのちがう時計』星野富弘／著（偕成社）

杉山琴美さん（甲府市）「弟と妹へ」：

『どんなにきみがすきだかあててごらん』

サム・マクブラットニイ／ぶん，アニタ・ジェラーム／え（評論社）

秋山まりえさん（甲府市）「高齢の母へ」：『こころの歳時記』三枝昂之／著（山梨日日新聞社）

丸山記代子さん（甲府市）「病床にある友人へ」：

『あかいはなさいた』タク・ヘジョン／文・絵（岩波書店）

深田智子さん（甲府市）「娘たち～もも・ゆめ・のの～へ」：

『へいわってすてきだね』安里有生／詩，長谷川義史／画（ブロンズ新社）

村木風海さん（甲陵中学校）「父へ」：

『スタンフォードの自分を変える教室』ケリー・マクゴニガル／著（大和書房）

若松真里奈さん（山梨県立大学）「幼稚園で出会った男児へ」：

『たまごにいちちゃん』あきやまただし／作・絵（鈴木出版）

向山萌さん（巨摩高校）「お母さんへ」：

『おかあさんとあたし。』ムラマツエリコ／著，なかがわみどり／著（大和書房）

清水優衣さん（甲府昭和高校）「高校野球児へ」：

『甲子園だけが高校野球ではない』岩崎夏海／監修（廣済堂あかつき）

高橋日菜さん（甲府昭和高校）「祖母へ」：『100万回生きたねこ』佐野洋子／作・絵（講談社）

柴田菜々穂さん（甲府昭和高校）「頑張るあなたへ」：

『小さなことにクヨクヨしなくなる本』加倉井さおり／著（かんき出版）

小川歩さん（押原中学校）「妹へ」：『セロ弾きのゴーシュ』宮沢賢治／作

水野多笑子さん（押原中学校）「祖母へ」：『西の魔女が死んだ』梨木香歩／著（新潮文庫）

磯部瑠華さん（押原中学校）「4歳になるはとこへ」：『おおきなかぶ』A・トルストイ／再話

清水夏紀さん（都留高校）「ブラジルに引っ越した親友へ」：

『君といたとき、いないとき』ジミー／作・絵（小学館）

深沢円香さん（甲府西高校）「友達へ」：『ぼくが宇宙人をさがす理由』鳴沢真也／著（旬報社）

大間優さん（甲府西高校）「虫の世話をしない弟へ」：『変身』カフカ／著（新潮文庫）

榊原緒妃菜さん（甲府西高校）「片思いの人へ」：『恋する日本語』小山薫堂／著（幻冬舎文庫）

廣瀬理子さん（駿台甲府高校）「小学生へ」：『Zero』キャサリン・オートシ／作・絵（講談社）

山田萌恵さん（山梨県立大学）「友人へ」：『恋文の技術』森見登美彦／著（ポプラ文庫）

学校賞

昭和町立押原中学校

北杜市立甲陵中学校

山梨県立甲府昭和高等学校

山梨県立甲府西高等学校

山梨県立甲府南高等学校

山梨県立白根高等学校

山梨県立都留高等学校

駿台甲府高等学校